

ダム湖面利用を考えよう！
第**12**回アウトドアカレッジ
【開催報告】

令和6年9月18日(水) 19時～20時

@設楽ダム広報展示室

第3回・第6回に引き続き、「ダム湖面利用」をテーマに、ダム湖面利用を考えよう！第12回アウトドアカレッジを開催しました。

今回は、具体的な湖面利用案を検討していくうえで必要であると考えられる、**湖面利用協議会設立準備会(仮称)**の立ち上げに向けて、事例紹介や参加者の皆さんとの意見交換などを行いました。

ダム湖面利用を考えよう！第12回アウトドアカレッジ

開催日 令和6年9月18日(水) 19時～20時

場所 設楽ダム広報展示室

参加者 15名

タイムスケジュール

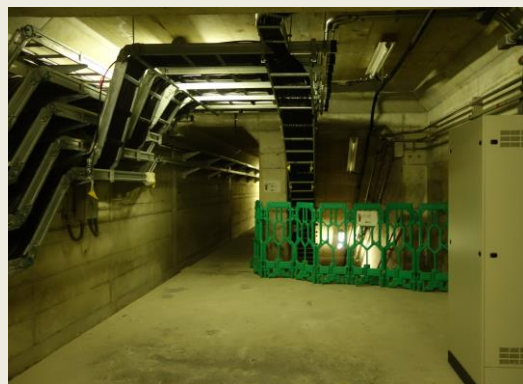
19:00-19:10 ダム湖面利用の事例紹介

19:10-19:50 意見交換
今後の進め方等について

19:50-20:00 まとめ、連絡など

ダム湖面利用事例 長島ダム

- 長島ダムは、一級河川、大井川水系大井川の上流、静岡県榛原郡(はいばらぐん)川根(かわね)本町(ほんちょう)に位置する、高さ109メートル、長さ308メートル、総貯水容量7,800万立方メートル重力式コンクリートダム
- 平成14年より管理を開始し、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水・かんがい用水・工業用水の供給が目的
- 地域により親しまれダムとなるため様々な工夫がされている
- 建設当初は、誰でも気軽に立ち入ることができるダムだったが、現在は防犯上の観点から、予約制でダムの中に入れる見学ツアーを開催



ダム湖面利用事例 長島ダム

- 長島ダムの湖面は、接岨(せっそ)湖という名付けられている
- 接岨湖は、ダム管理を開始してから15年後の平成29年に、湖面利用協議会が立ち上がった
- ダム湖が様々な団体・個人の利用がされていることから、協議会は、利用者相互が安全かつ有意義に利用するための役割を担っている
- ダム湖面は「自由使用の原則」が前提だが、水上バイクが走り、カヌーやカヤックなどの転覆事故が起こったため、水上バイクを禁止に
- 接岨(せっそ)湖は、乗船場が1か所しかなく、湖面利用の棲み分けができていない
- ゴミのポイ捨て問題があることから、湖岸においてのバーベキューや花火、たき火を禁止した



ダム湖面利用事例 長島ダム

- 第6回アウトドアカレッジでも話題に上がったが、設楽ダムの湖面利用を検討し、具体化させるために、湖面利用協議会を設立する必要があると考えられる
- もし河川敷地にイベント施設やオープンカフェなどを設置して営業活動を行う場合は、「河川空間のオープン化」も必要
- 第12回アウトドアカレッジに参加いただいた方に協議会のコアメンバーになっていただく想定をしている
- 今後、湖面利用の先進地視察を行って、湖面利用検討を進めていきたい
- また、関わる個人や団体を増やしていき、様々な視点で検討を進め、地域振興に資する利用案を考えたい

湖面利用協議会スケジュール案

年単位計画

項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
ダム建設		ダム本体関連工事								試験湛水	完成	
湖面利用協議会		勉強会								準備会		

試験湛水されるまでは、勉強会として開催（隔月に1回をメドに開催）

先進地の視察や事例研究を行う

設楽ダムの湖面利用に関係する個人や事業者を巻き込みながら検討を進める

【内容など】

ダム湖までのアクセス方法の検討（他ダム湖との比較・検討）

湖面利用のルールづくり、安全な管理体制づくり

河川利用のオープン化の手続きに向けた連携・検討

例：水上バイク、バーベキュー、花火、たき火の利用を許可するのか

安全管理上その他に検討事項はあるか

外来魚の放流対策

ダム湖の発着場の管理、施錠

釣りをはじめ、どのようなアクティビティが実施できるのか など

ダム湖面利用に関する整備方針

- ・田中ケン氏とのワークショップ、これまでのアウトドアカレッジの内容、過年度の検討内容等を踏まえ、導入する機能に対する整備方針を整理した。

【整備方針①】：設楽町内におけるアクティビティのランドマークとなる

- ・人が工夫して遊べる場として、「設楽町の暮らし＝アウトドア」が体现されるようなエリアを目指す

【整備方針②】：地域内外に向けた「ワクワク」感の発信場所となる

- ・利用者が、ここに行けば何かがあると思えるような空間として、地域内外に向けた情報発信場所を目指す

【整備方針③】：運営側の維持管理がしやすい

- ・地域の経済活性化に貢献しながら、管理者の負担が少ない持続可能な運営を目指す

【整備方針④】：地域内での交流が促進される

- ・地域の生活の一部として、住民の幅広い世代が交流できる空間を目指す
- ・住民の地域づくり活動がサポートされ、地域の声が届く機会・場所が創出される

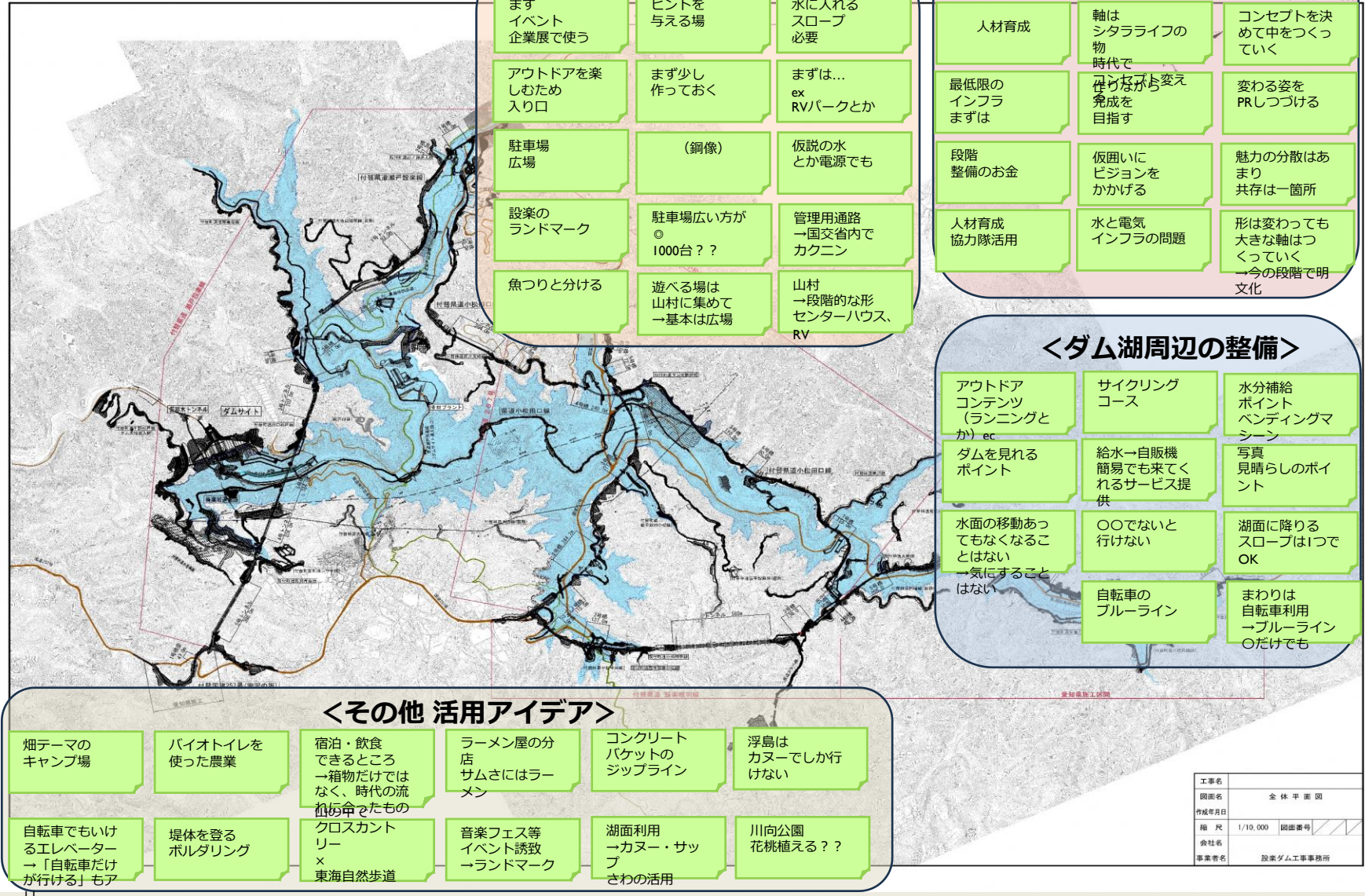
【整備方針⑤】：地域外との連携が強まる

- ・地域内外の交流により新たなコミュニティ・活動が生まれる空間を目指す

この方針を基本とし、さまざまな主体と検討を進め、ダム湖面利用案を具体化させる

これまでに寄せられた意見やアイデア

令和6年7月8日 WS意見整理



ダム湖面利用イメージ（案）

■ ■ 導入する施設（案） 整備方針を踏まえて利用イメージを想定し、機能及び具体的施設について検討した。検討内容を以下に示す。

1. ゲートウェイ・レクリエーション機能

・山村都市交流拠点

【整備方針①,②,③】

①駐車場

全ての利用者にとって安全に駐車できる駐車場

②トイレ

高齢者、子供、身体障がい者にも配慮した清潔なトイレ

③休憩施設

住民同士や地域内外の交流が生まれる賑わいとなる休憩施設

④体験施設

キャンプ施設等と連携し、アウトドアのランドマークとなる体験施設

2. 地域連携・交流促進機能

・大名倉：運動公園

【整備方針③,④,⑤】

・川 向：メモリアル公園

・八 橋：サイクルステーション

①駐車場

全ての利用者にとって安全に駐車できる駐車場

②トイレ

高齢者、子供、身体障がい者にも配慮した清潔なトイレ

③休憩施設（イベントスペース、広場 等）

近隣住民、通行者、観光客が立ち寄れる休憩施設

④自動販売機

利用者が休憩する際に補給でき、利便性・快適さを上げる施設

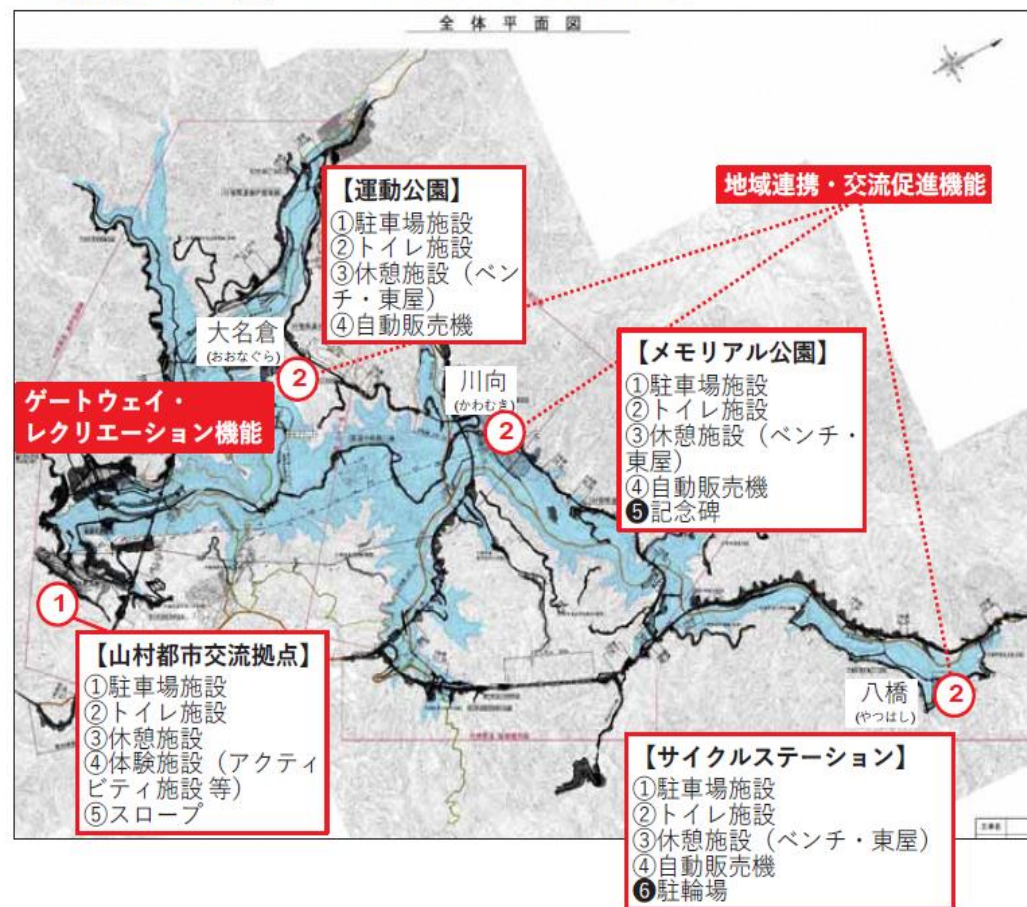
⑤記念碑【川向：メモリアル公園のみ】

地域が大きく変容しても、地域の記憶を次世代へ継承できる記念碑

⑥駐輪場【八橋：サイクルステーションのみ】

ダム湖周辺のサイクリスト等を対象に、休憩場所などとして、集まれる駐輪場

<利用イメージ（案）> 左の施設箇所を、平面図に記載。



当日の様子

ダム湖面利用の先進時事例を紹介したのち、設楽ダムの模型を囲みながら、ダム湖面利用に関する意見やアイデアを出し合いました。



意見など

- 漁協でダム建設延伸が決まる前に話し合ったことはあるが、現時点で考えがまとまっているわけではない
- 堤体付近は安全管理上使用できない認識
- 八橋、大名倉の工事している場所は危険なので、放流していない
- 今年、10年間の漁業権の更新を行った(ダム完成の際に更新時期を迎える)
- 大名倉はサツキマス（大きくなったアマゴ）
- 八橋はフナやワカサギ
- ワカサギについて、卵を買ってきて放すのではなく、ここで卵を産んで孵化させて放す循環型ができると良いが、10mの高低差があると循環型はできない。となると浮島で卵を産ませてということは無理かもしれない
- 鮎はダム湖から孵化して上流へ登っていくとなると八橋から上流はほとんどないので、現実的には難しいと感じている。となると、鮎については、ダムより下流になってくる。ダム湖のどこでも釣りができるといい。そのためにアクセス道路を整備してほしい。湖面では釣りはするという認識。
- 魚釣り以外の利用（SUPやカヌー）があると魚釣りの邪魔になる？となると住み分けが必要ではないか

意見など

- 魚釣りは、今の認識だと陸から釣る。船からは考えていないので、湖面は自由でいいかも
- 湖面ができれば船から釣ることも考えていかなければいけない。なのである程度のルール作りは必要ではないか
- 魚釣り以外のものも勉強会をしていけばいい
- 役場の方でも色々なダムを視察していると思うので、湖面利用しているものの一覧をだしてほしい
- ジェットスキーなどもいいかな
- 釣りのできるエリアとアクティビティのエリアをわければいい→エリアも併せて勉強会を
- ジェットスキーは水を汚すという意見も
- 下り口が一つだと大変。人が混雑する。釣りとアクティビティは分けた方がいいのでは
- 釣りは釣りで何か所か作った方がいい
- エンジン付きのものをどうするかというのも協議会でルールを決めた方がいい
- 下り口の要望するリミットは
→道路整備と合わせて行うので、257号はできているので、難しいが、川向のところはこれからなので、対応できるところも。いずれにせよ早いうちに。
- 湖面で何をやるか、

意見など

- 魚釣りを決めて、それ以外の活用と下り口をどうするかを決めては
- 水が入ってくるところに魚が集まってくるので、そこらへんに下り口がほしい
- ボート部を誘致する考えはあるか？

→田口高校で作るのであればそれは場所を確保しないといけない。公営で作ってやるのは厳しい。みんなで話し合っていきたい

- 魚を放流するだとか、だれがどう管理するとか（下り口がたくさんあればなおさら）今後の勉強会で話していけたら。

- エンジン付きのボートの制限だとかは誰が決めるのか

→国としては、自由使用、決めるのは協議会。禁止事項など、協議会で湖面のルールについて決めていく。

- 湖面利用協議会でどういう人たちに利用してもらいたいかを決めるのも一つである。
- そうすると、アクティビティも決まってくるのでは。水をきれいに使ってほしいければ、エンジンはNGとなるし、観光でということであれば、人気のあるアクティビティとなるのでは。
- 魚が居つくのは、湖畔。大名倉とさわらごはサツキマス、八橋とタコウズはまた別の魚。釣りとしては、今まで通り使用したい
- 県の規制が絡んだりするのでは、参加するのは水系だけでよいか

→湖面利用に関して、県の規制は基本的にないとおもうので、水系が引き続きかわる。もし出ればその再調整する。保安林や砂防関係、道路沿いの駐車スペース整備などに関わってくると思われる。

まとめ

- アウトドアカレッジをきっかけに意見交換などを行ったことで、参加者ごとにさまざまな思いがあるのがわかった
- また、さまざまな方が参加していることで、想像もしなかったアイデアが生まれる
- 湖面利用協議会の立ち上げを見据えて、定期的にダム湖面利用などの勉強会としてこのような場を継続して設ける(アウトドアカレッジとは別で)
- 国、県、町、各組織という肩書は外せないかもしれないが、ダム湖面を利用する当事者として、引き続き勉強会に参加していただく
- 視察、事例紹介なども企画するので、引き続き関わっていただきたい
- 参加してほしい人がいたら連れてきてほしい
- 令和14年の試験湛水のタイミングで、協議会が設立し、湖面のどこでなにをやるか等案を具体化させる
- 今回の意見などは図面に落とし込み、降り口などの整備について今後検討する
- 次回以降、その進捗状況を報告し、皆さんと議論をしたい

令和**6**年**9**月**18**日**19**時～**20**時@設楽ダム広報展示室
ダム湖面利用を考えよう！第**12**回アウトドアカレッジ

当日の様子をYouTubeでご覧いただけます！



※3つの動画に分かれています。
概要欄のリンクからすべての動画を視聴可能です。

企画ダム対策課では第5回アウトドアカレッジ以降も 設楽町のおすすめアウトドアスポット募集しています！



設楽町のおすすめアウトドアスポットをご存じの方は、
左記QRコードを読み取り、フォームからご投稿ください！

【記載項目】

氏名、メールアドレス、おすすめアウトドアスポットの位置情報、
写真、コメント



教えていただいたアウトドアスポットは、
地図上に落とし込み、**設楽町役場で掲示しています**

人と自然と繋がりを五感で感じる場

アウトドアアカレτζ

つながり、
はじまる。

設楽町での豊かな暮らしを
未来に繋いでいくために、
今ある地域資源、語り継がれ
る文化などを再認識します。
私たちの町に活気、愛着、
自信を！



○内容：ダム湖周辺整備・焚き火を囲む会 など

○スケジュール：第3水曜日 18:00～ ※zoomでも参加可能（月に1回程度開催予定）

主催 / 企画ダム対策課
問い合わせ先 / 企画ダム対策課：0536-62-0514
(kikaku@town.shitara.lg.jp)



◀開催情報はこちら